

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記検査項目におきまして、検査内容を変更させていただきます。ご案内いたします。
何卒ご了承賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■ 実施日 2019年4月1日(月) ご依頼分より

■ 変更項目

検査項目	アルブミン (Alb)	アンドロステロン
	A/G 比	FGF-23
	リパーゼ	BCA225
	総コレステロール (T-Chol)	血清抗 p53 抗体
	エステル型コレステロール (Echo)	ヒトパピローマウイルス DNA (16 型, 18 型, その他ハイリスクグループ)
	コレステロールエステル比	L 型脂脂肪酸結合蛋白 (L-FABP) [CLEIA]
	Zn (尿中亜鉛)	細胞診 (婦人科 LBC ベセスダシステム)
	サイログロブリン	細胞診 (婦人科 LBC)
	コルチコステロン	BRACAnalysis 診断システム
	デオキシコルチコステロン (DOC)	

●変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
5059 2	アルブミン (Alb)	参考文献	浅井 孝道：検査と技術 7 (10) : 815~820, 1979.	佐々木 真弓, 他：機器・試薬 26 (4) : 335~338, 2003.	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更、および参考文献の変更
0382 0	A/G比	※アルブミンの測定試薬以外の変更はありません。			
0428 4	リパーゼ	基準値(単位)	11~59 (U/L)	11~53 (U/L)	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更、および基準値、報告範囲、材料、参考文献の変更
		報告範囲	3 未満, 3~999999999	4 以下, 5~999999999	
		材料	血清	血清、部分尿	
		参考文献	林 長蔵, 他：臨床検査機器・試薬 9 (22) : 225~233, 1986.	松井 静代, 他：医学と薬学 41 (3) : 489~496, 1999.	
0394 0	総コレステロール (T-Chol)	検査方法	コレステロール酸化酵素 (COD-POD) 法	コレステロール脱水素酵素 (UV) 法	より広く利用されている検査方法の試薬へ変更、および報告範囲、参考文献、JLAC10の変更
		報告範囲	5 未満, 5~999999999	2 未満, 2~999999999	
		参考文献	金井正光 編：臨床検査法提要 第34 版(金原出版) : 512, 2015.	桜井 強：医学検査 47 (4) : 747~752, 1998.	
		JLAC10	3F050-0000-023-271	3F050-0000-023-272	
0396 4	エステル型コレステロール (Echo)	検査方法	コレステロール酸化酵素 (COD-POD) 法、酵素法	コレステロール脱水素酵素 (UV) 法、酵素法	より広く利用されている検査方法の試薬へ変更
0397 1	コレステロールエステル比				
0427 7	Zn (尿中亜鉛)	報告範囲	尿量により変更~99900000	10 未満, 10~999999999	報告範囲の再設定
2586 0	サイログロブリン	報告範囲	0.04 未満, 0.04~99900000	0.04 未満, 0.04~499, 500 以上	報告範囲の拡大
0804 9	コルチコステロン	所要日数	8~20 日	9~14 日	委託先の所要日数変更に伴う変更
0806 3	デオキシコルチコステロン (DOC)	所要日数			
0812 0	アンドロステロン	所要日数			
M895 1	FGF-23	基準値(単位)	16~69 (pg/mL)	(設定なし) (pg/mL)	基準値の設定
0020 1	BCA225	検査方法	CLEIA	EIA	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更、および検査方法、基準値、報告範囲、検体量、参考文献、JLAC10の変更
		基準値(単位)	160 未満 (U/mL)	160 以下 (U/mL)	
		報告範囲	20.0 未満, 20.0~99900000	30 以下, 31~99000000	
		検体量	0.3 mL	0.2 mL	
		参考文献	小林美耶子, 他：医学と薬学 72(7) : 1249~1259, 2015.	石 和久, 他：基礎と臨床 23 (15) : 6087~6095, 1989.	
		JLAC10	5D125-0000-023-052	5D125-0000-023-023	
6224 9	血清抗 p53 抗体	検査方法	CLEIA	ELISA	測定試薬販売中止に伴う試薬の変更、および検査方法、報告範囲、参考文献の変更
		報告範囲	0.40 未満, 0.40~99900000	0.40 以下, 0.41~99900000	
		参考文献	橋本礼輔, 他：医学と薬学 75 (8) : 955~964, 2018.	島田 英昭, 他：日本臨床外科学会雑誌 64 (7) : 1551~1559, 2003.	
		JLAC10	5D560-0000-023-052	5D560-0000-023-023	

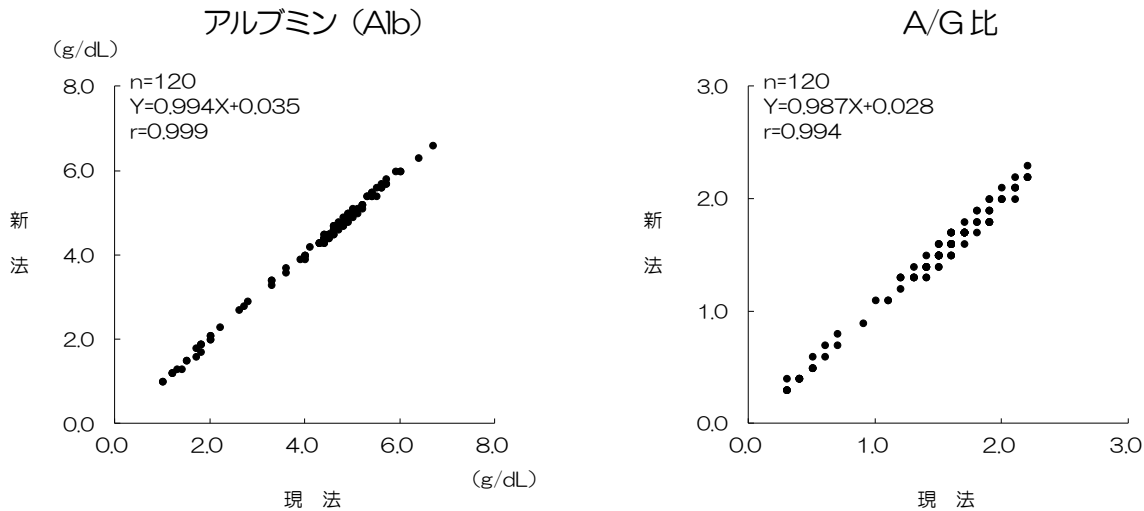
項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
6471 1	ヒトパピローマウイルスDNA (16型、18型、その他ハイリスクグループ)	保存	室温	冷蔵	検体保存条件の見直しと、備考欄および欄外の変更
		備考欄	測定対象は16型、18型、その他ハイリスクグループ(31、33、35、39、45、51、52、56、58、59、68型および66型)です。「その他のハイリスクグループ」については、型別の判定ではありません。検体に血液が混入していると、データに影響を及ぼす場合がありますのでご注意ください。	測定対象は16型、18型、その他ハイリスクグループ(31、33、35、39、45、51、52、56、58、59、68型および66型)です。「その他のハイリスクグループ」については、型別の判定ではありません。他項目との重複依頼は避けてください。検体に血液が混入していると、データに影響を及ぼす場合がありますのでご注意ください。	
		欄外	[2326 0] 細胞診 (婦人科LBC) または [6241 8] 細胞診 (婦人科LBC ベセスダシステム) との同時依頼のみ可能ですが、その際、細胞診の所要日数が1~2日遅れます。	(記載なし)	
6536 0	L型脂肪酸結合蛋白 (L-FABP) [CLEIA]	測定実施場所	エスアールエル 八王子ラボラトリー	エスアールエル MUQS ラボラトリー (&ヨ)	測定範囲が広い代替試薬へ変更、および測定実施場所、参考文献の変更
		参考文献	森 さゆり, 他: 機器・試薬 41 (6) : 615~620, 2018.	富田 健一郎, 他: 医学と薬学 72 (8) : 1389~1395, 2015.	
		報告範囲	L-FABP 濃度 0.20 未満, 0.20~99900000 L-FABP クレアチニン換算値 0.01 未満, 0.01~99900000	L-FABP 濃度 0.50 未満, 0.50~99999.99 L-FABP クレアチニン換算値 (設定なし) 0.01~99999.99	
6241 8	細胞診 (婦人科LBC ベセスダシステム)	欄外	[6471 1]ヒトパピローマウイルスDNA (16型、18型、その他ハイリスクグループ) との同時依頼が可能ですが、その際、細胞診の所要日数が1~2日遅れます。	(記載なし)	[6471 1]ヒトパピローマウイルスDNA (16型、18型、その他ハイリスクグループ) の検体保存温度変更に伴う欄外文章の追加
2326 0	細胞診 (婦人科LBC)				
2690 5	BRACAnalysis 診断システム	項目名称	BRCA1/2 遺伝子検査	BRACAnalysis 診断システム	診療報酬名称の改定に伴う、項目名称の変更

● アルブミン (Alb) 、 A/G 比

測定試薬販売中止に伴い、代替試薬へ変更させていただきます。基準値など、項目要項の変更は一切ありません。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
5059 2	アルブミン (Alb)	参考文献	浅井 孝道：検査と技術 7 (10) :815~820, 1979.	佐々木 真弓, 他：機器・試薬 26 (4) :335~338, 2003.
0382 0	A/G 比	アルブミンの測定試薬以外の変更はありません。		

▼現法と新法の比較



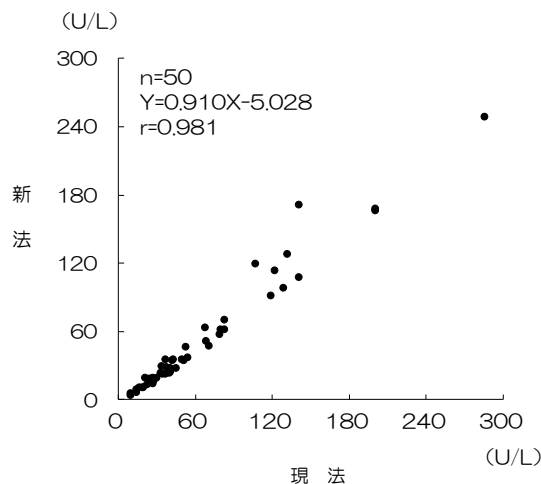
● リパーゼ

測定試薬販売中止に伴い、代替試薬へ変更させていただきます。

この変更に伴い、基準値、報告範囲、材料、参考文献が変更となります。なお、基準値はメーカー設定値です。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
0428 4	リパーゼ	基準値 (単位)	11~59 (U/L)	11~53 (U/L)
		報告範囲	3 未満, 3~999999999	4 以下, 5~999999999
		材料	血清	血清、部分尿
		参考文献	林 長蔵, 他：臨床検査機器・試薬 9 (22) :225~233, 1986.	松井 静代, 他：医学と薬学 41 (3) :489~496, 1999.

▼現法と新法の比較

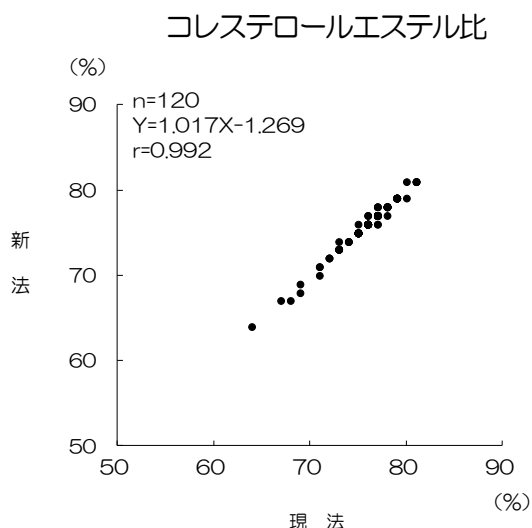
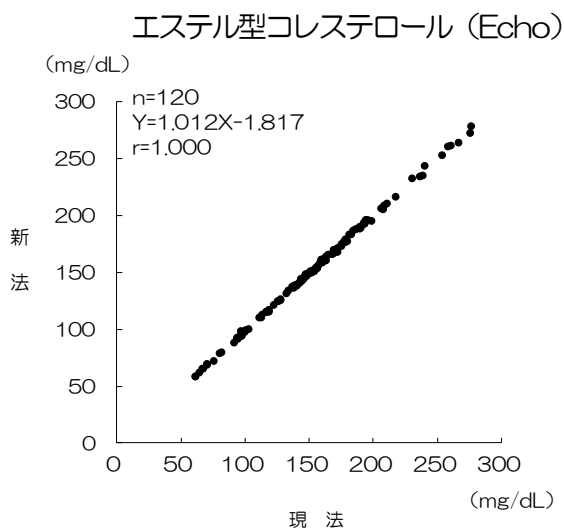
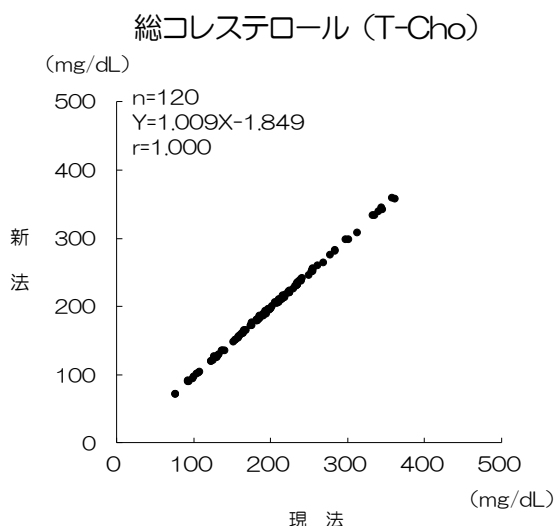


● 総コレステロール (T-Cho) 、エステル型コレステロール (Echo) 、コレステロールエステル比

より広く利用されている検査方法の試薬へ変更させていただきます。
この変更に伴い、検査方法、報告範囲、参考文献、JLAC10が変更となります。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
0394 0	総コレステロール (T-Cho)	検査方法	コレステロール酸化酵素 (COD-POD) 法	コレステロール脱水素酵素 (UV) 法
		報告範囲	5未満、5~99999999	2未満、2~99999999
		参考文献	金井正光 編：臨床検査法提要 第34版 (金原出版) : 512, 2015.	桜井 強：医学検査 47 (4) : 747~752, 1998.
		JLAC10	3F050-0000-023-271	3F050-0000-023-272
0396 4	エステル型コレステロール (Echo)	検査方法	コレステロール酸化酵素 (COD-POD) 法、酵素法	コレステロール脱水素酵素 (UV) 法、酵素法
0397 1	コレステロールエステル比			

▼現法と新法の比較

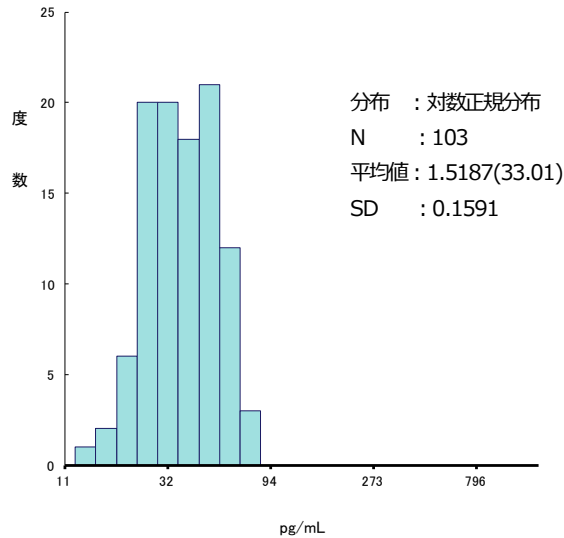


● FGF-23

下記の通り、基準値を設定させていただきます。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
M895 1	FGF-23	基準値 (単位)	16~69 (pg/mL)	設定なし (pg/mL)

▼健常人分布



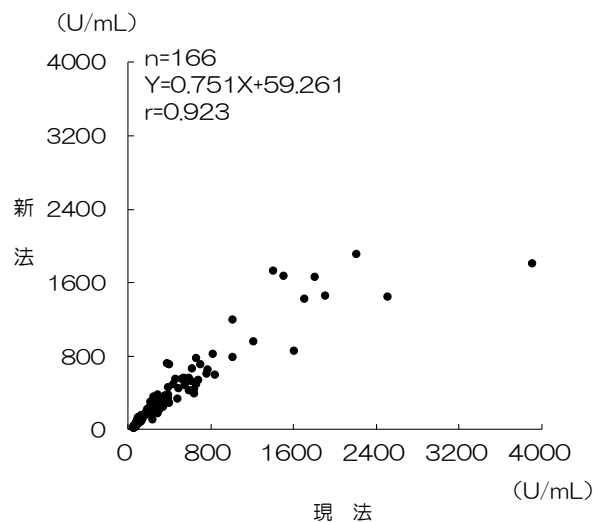
● BCA225

測定試薬販売中止に伴い、代替試薬へ変更させていただきます。

この変更に伴い、検査方法、基準値、報告範囲、検体量、参考文献、JLAC10が変更となります。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
0020 1	BCA225	検査方法	CLEIA	EIA
		基準値(単位)	160 未満 (U/mL)	160 以下 (U/mL)
		報告範囲	20.0 未満、20.0~99900000	30 以下、31~99000000
		検体量	0.3 mL	0.2 mL
		参考文献	小林美耶子, 他:医学と薬学 72 (7) : 1249~1259, 2015.	石 和久, 他:基礎と臨床 23 (15) : 6087~6095, 1989.
		JLAC10	5D125-0000-023-052	5D125-0000-023-023

▼現法と新法の比較



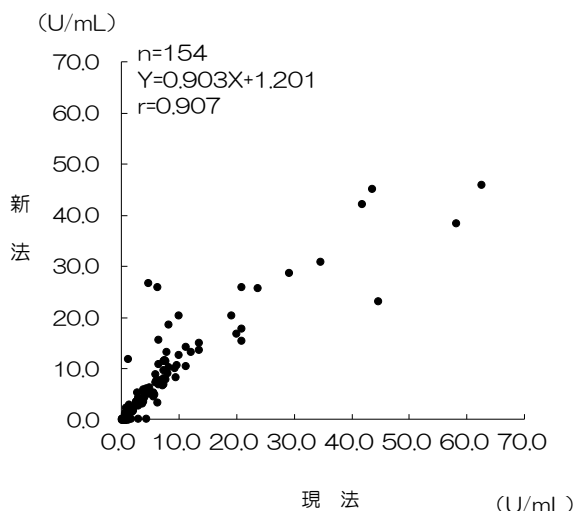
● 血清抗 p53 抗体

測定試薬販売中止に伴い、代替試薬へ変更させていただきます。
この変更に伴い、検査方法、報告範囲、参考文献、JLAC10 が変更となります。

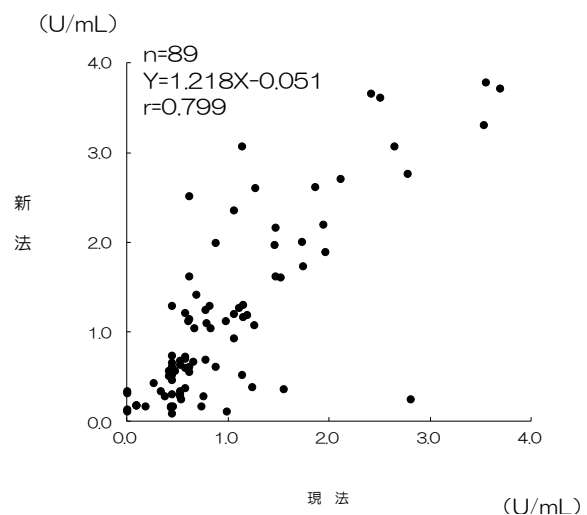
項目コード	検査項目	変更内容	新	現
6224 9	血清抗 p53 抗体	検査方法	CLEIA	ELISA
		報告範囲	0.40 未満、 0.40~99900000	0.40 以下、 0.41~99900000
		参考文献	橋本礼輔, 他: 医学と薬学 75 (8) : 955~964, 2018.	島田 英昭, 他: 日本臨床外科学 会雑誌 64 (7) : 1551~ 1559, 2003.
		JLAC10	5D560-0000-023-052	5D560-0000-023-023

▼現法と新法の比較

(全体)



(低値域)



※報告下限値 (現法 : 0.4U/mL 以下、新法 : 0.4U/mL 未満) のデータは実測値を用いました。

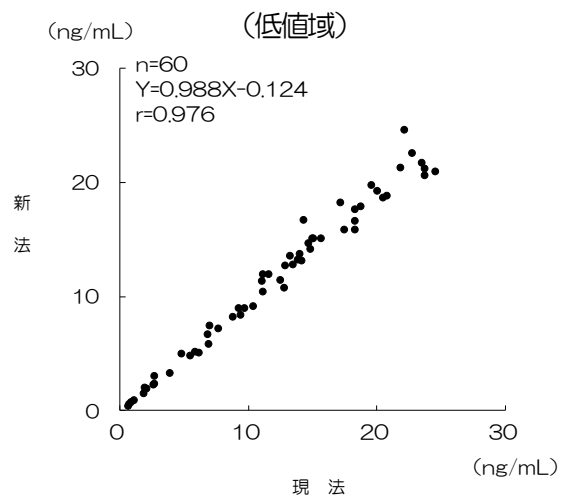
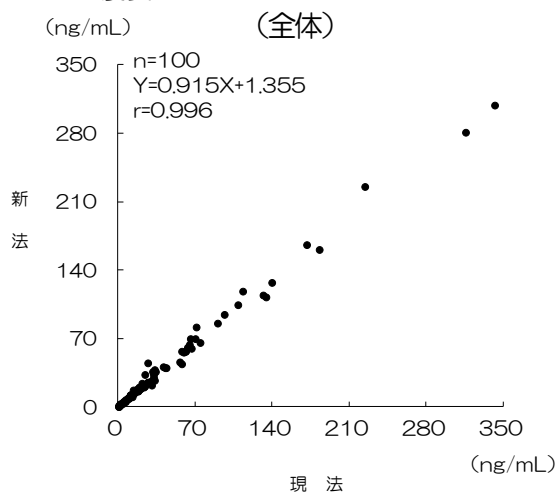
● L型脂肪酸結合蛋白 (L-FABP) [CLEIA]

同一メーカーの報告範囲が広い試薬へ変更いたします。
この変更に伴い、報告範囲、測定実施場所、参考文献が変更となります。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
65360	L型脂肪酸結合蛋白 (L-FABP) [CLEIA]	測定実施場所	エスアールエル 八王子ラボラトリー	エスアールエル MUQS ラボラトリー (&ヨ)
		参考文献	森 さゆり, 他: 機器・試薬 41 (6) : 615~620, 2018.	富田 健一郎, 他: 医学と薬学 72 (8) : 1389~1395, 2015.
		報告範囲	L-FABP 濃度 0.20 未満, 0.20~99900000	L-FABP 濃度 0.50 未満, 0.50~99999.99
		L-FABP クレアチニン換算値 0.01 未満, 0.01~99900000	L-FABP クレアチニン換算値 (設定なし)	L-FABP クレアチニン換算値 (設定なし)

▼現法と新法の比較

L-FABP 濃度



L-FABP クレアチニン換算値

